

興譲館の梅

【学校教育目標】
やさしく、かしこく、たくましく
笑顔の花咲く 桜っ子の育成
～すべては子ども達の自信のために～

令和7年5月2日 文責：校長

学校教育目標について

今回は桜岡小学校の学校経営計画についてお話しします。

初めに学校教育目標ですが、桜岡小といえば「やかたの子」。児童にも保護者の皆様にもそして地域の方にも浸透している「やさしい子、かしこい子、たくましい子」の育成、知徳体のバランスのとれた子ども達が、笑顔で学校生活を送ることができるよう教職員、児童、保護者、そして地域のお力も借りながら取り組んでいきたいとの思いで、「やさしく、かしこく、たくましく、笑顔の花咲く桜っ子の育成」という目標にしました。そして、サブタイトルを「全ては子ども達の自信のために」としました。

昨年は、このサブタイトルが、「笑顔のために」でしたが、今年は「自信のために」と変えています。この理由としては、昨年度の児童アンケートで「自分にはよいところがあると思う」の割合が79%、また、「先生はあなたのよいところを認めてくれている」の割合が83%と、いずれもここ数年間で少しずつ向上しています。つまり、児童の「自己有用感」が少しずつ向上してきていると言えます。

そこで、この結果を踏まえ、昨年に引き続き教育活動の中で児童をタイムリーにほめ、価値付けをしていくことを通して、児童が自分に自信をもち、さらに自分の強みをいかながら生き生きと学校生活を送ることができるよう、職員が一致団結して取り組んでまいります。

そのための重点取組として、

1つめに、子どもが自ら学びたくなる授業づくり、生徒指導の充実です。「立腰」「か・つ・お」「見てきく、話す」など学習規律を徹底し、学びに向かう力を育成する授業実践に取り組んで参ります。

2つめは、子どもの困り感に寄り添う支援、心と体を育てる教育活動の充実です。特別支援教育についての研修や関係機関、専門人材と連携した教育相談体制を充実させて参ります。また、人権・同和教育、いのちの学習等、周囲との関わりの中で心を育む教育に取り組んで参ります。

3つめは、教職員の協働意識・体制の向上です。チーム学校としての組織的な対応力を向上させて参ります。

職員総勢48名のメンバーで一致団結し、学校経営方針のもと、児童の『自己有用感を高める教育の推進』を目指して参ります。保護者の皆様、引き続き本校の教育活動に、ご支援、ご協力をお願いいたします。

お礼

教頭として2年間桜岡小学校にお世話になった中で、とても印象的だったことがあります。

それは、毎日保護者の皆様から電話連絡をいただいた中で、感心させられていたことが、以下のような本校教職員のことを思いやるお話しぶりでした。

- ・「おはようございます。〇年月組の〇〇の母です。お忙しい時にすみません。…」
- ・「いつもお世話になっています。〇年雪組の〇〇の父親です…」
- ・「いつもありがとうございます。…」
- ・「すみません。今お電話よろしかったでしょうか?…」
- ・「ご迷惑をかけております。…」

このことについては、昨年、一昨年と教頭だよりには書かせていただきました。

きっと保護者様ご自身もお忙しい中にお電話をしていただいているにもかかわらず、このようにお話ししてくださる姿に、とても感謝しておりました。

そして今年も、職員から同様にこのような保護者の皆様の対応について私に報告がありました。ありがたい気持ちでいっぱいです。改めまして感謝申し上げます。